サイバーレジリエンス試験装置

Navi Resi

ー簡単操作でサイバーレジリエンスー

概要

NaviResiは、一般財団法人日本海事協会殿発行の"鋼船規則X編5章"※1に基づき、立会検査時に、試験装置として利用できる機能を備えた装置です。

※1：鋼船規則X編5.4.3 (2) (d) iii) (1) ゾーン境界保護デバイスを標的とするサービス拒否（Dos）攻撃試験　へ対応可能。
5.4.3 (1) (d) iii) (2) については、本ツールを利用した試験の他に、別途試験を実施する必要があります。
試験の詳細については、立会検査時にご確認下さい。

用途

■造船所：試験運転段階での検査時に使用

■船　主：定期検査での検査時に利用。任意で確認、検査を実施する場合に利用

対象船舶

■本試験装置を必要とする対象船舶

2024年7月1日以降に建造契約が行われた以下条件の船舶

- 国際航海に従事する旅客船（旅客船に該当する高速船含む）
- 国際航海に従事する総トン数500トン以上の貨物船
- 国際航海に従事する総トン数500トン以上の高速船
- 総トン数500トン以上の海底資源掘削船
- 建設に従事する自航式海洋構造物
  （すなわち、風力発電設備の設置、保守及び補修、クレーンユニット、ドリリングテンダー、宿泊等に用いられるもの）

構成品

■NaviResi構成（販売構成品）

1.設定解析PC（WindowsPC）＜ノート型PC＞　×　1台
- OS：Windows11Pro
- 導入アプリケーション：サイバーレジリエンス試験ツール（ＭＨＩ下関エンジリング製）MicrosoftOffice (Excel)

2.試験PC（Linux）＜ノート型PC＞　×　1台
- OS：KaliLinux

3.USBメモリ　×　1本

特徴

・専門知識不要（画面操作のみ、ｺﾏﾝﾄﾞ入力等なし）
・試験操作から、試験結果のアウトプットまで楽々操作
・直観操作ですぐに試験開始可能

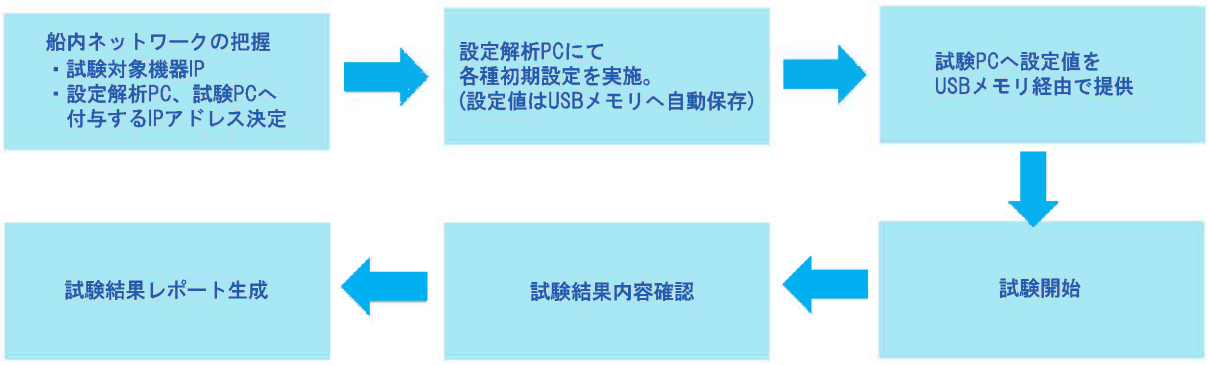
機能

・自動ポートスキャン機能
対象機器のポートスキャンを自動で実施し、アクセス可能なポートの洗い出し
※TCPはすべてスキャン、UDPは主要TOP100をスキャン。

・Dos攻撃
ICMP/TCP/UDPベースの攻撃を実施し、ネットワーク耐性の評価

・試験結果
試験結果は、EXCELファイル、PDFファイルで出力

試験手順



★注記：鋼船規則X編5.4.3(2)(d)iii)2)について

・ネットワークのフラッディング（許容範囲を超えるデータの送信）については、試験対象のネットワーク環境により、別途Dos攻撃用の端末が複数台必要となる場合があります。
・アプリケーション層への攻撃については、本ツールでは対応できません。対象機器へのブルートフォース攻撃（自動でログインを試す攻撃）や、NMEAセンテンスなどの特定情報の過剰送信による攻撃などを想定。

販売形態

ご発注頂きました後、設定解析PC×1台、試験PC×1台、USBメモリ×1本、取扱説明書×1部を標準構成品として、納品（送付）いたします。
※設定解析PC及び試験PCで利用するノート型PCについての機種指定はできません。
当社にて選定する機種（NaviResiとして稼働可能なスペックを有する）での納品となります。

その他

NaviResiを利用した試験時に、技術員を派遣することも可能です。お気軽にご相談ください。
（オプション：別途費用が必要）

お問い合わせ先

MHI下関エンジニアリング

機械システム技術部 制御システムグループ
担当：谷口
TEL：083-261-0033
FAX：083-266-2254
e-mail：seiji.taniguchi.ru@mhi.com